

つくば市の地勢と気象

つくば市は、茨城県南部の県南地域に位置する。北は筑西市と桜川市に、東は石岡市と土浦市に、南はつくばみらい市と牛久市に、西は下妻市と常総市に接している。市内を南北に谷田川が、市の西部(下妻市、常総市との境)を南北に小貝川が流れている。また、市の北部から東部(土浦市との境)にかけて桜川が、市の中央部から南東方向に小野川が流れている。谷田川は、つくば市長高野を水源とする一級河川(県管理)で、龍ヶ崎市の牛久沼に流入する。小貝川は、栃木県那須烏山市の小貝ヶ池を水源とする一級河川(国管理)で、取手市と利根町の境を経て利根川と合流する。桜川(土浦～岩瀬)は、桜川市の鍬柄山を水源とする一級河川(県管理)で、土浦市で霞ヶ浦(西浦)に流入する。小野川は、つくば市小野崎を水源とする一級河川で、稲敷市で霞ヶ浦(西浦)に流入する。

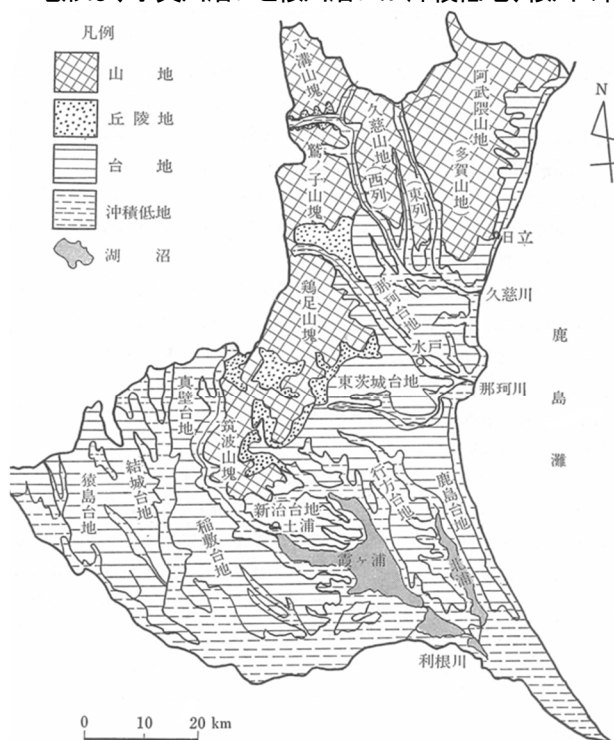
地形は、小貝川沿いと桜川沿いが沖積低地、桜川の南側は台地(稲敷台地)で、市の北部から北東部の市境付近

は山地(筑波山塊／八溝山地)である。主な山としては、市の北部(桜川市、石岡市との境)に筑波山(男体山:標高 871m、女体山:標高 877m)が、市の北東部(土浦市との境)には八溝山地最南端の宝篋山(宝鏡山/標高 461m)などがある。

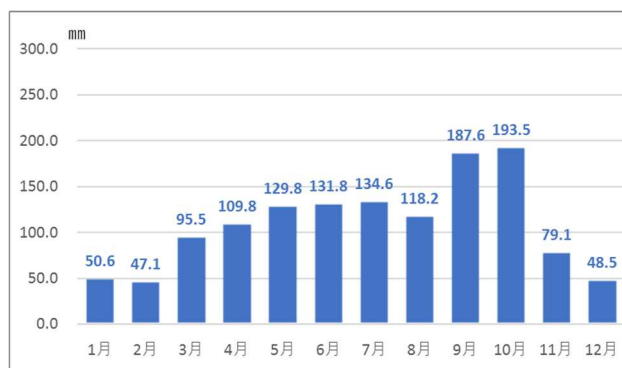
気候は、太平洋側気候で、内陸部では内陸気候の特徴を、山岳地域では山岳気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。内陸部では、気温変化が大きく乾燥しやすい。また、放射冷却が強く働きやすい。山岳地域では、複雑な地形の影響を受けるため、気候の地域差が著しい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に突出して多くなる。年降水量の平年値(つくば)は 1326.0 mmである。

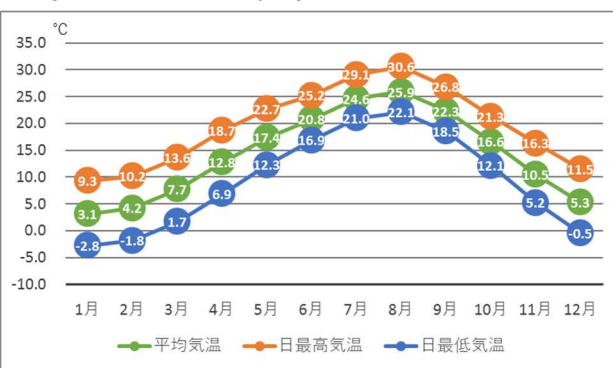
気温は、夏に 35℃ 以上の猛暑、冬に -15℃ 以下となることもあるが、平年の気温(つくば)は、夏季の日最高気温が 30.6℃、冬季の日最低気温が -2.8℃で、年平均気温は 14.3℃である。



茨城県の地形区分(出典:茨城県 地学のガイド;1977, コロナ社)



つくばの降水(月ごとの平年値) 1991年～2020年の統計値



つくばの気温(月ごとの平年値) 1991年～2020年の統計値

つくばの平年値・極値はこちら

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=47646&year=&month=&day=&view=